



p.254 姉・クラウディア邸のダイニング。
特大のシャンデリアはヴィンテージの
ムラノガラスをチップで購入し、1ピースずつ
つないで仕上げたオリジナルの照明。
エレガントな佇まいのチェアはノルのもの。
p.255 エントランスからは、アーチの開口越しに
美しくフレーミングされた外の景色へ視線が抜ける。
ペンダント、チェアの脚、テーブルの天板の
真鍮でコーディネートリンクさせている。
ブルーのガラス器はヴェネーニのヴィンテージ。

Vintage x Modern

Mix Interior



18世紀の農家をリノベーションしたトスカーナの豪邸 洗練の新旧ミックスインテリア

緩やかな丘陵地帯が広がるイタリア・トスカーナ地方に、豊かな自然風景と馴染む石造りの建物が佇んでいます。ここは、この地で生まれ育った姉妹が共に暮らすという夢をかなえた二世帯住宅。長年手つかずだった農家を4年がかりで改修し、伝統と現代が溶け合う美しい暮らしが生まれました。

撮影／Monica Spezia コーディネイト／Kayo Tokunaga (徳永かよ) 設計／Alessandro Capellaro + Sabrina Bignami (b-arch)



Vintage x Modern

Mix Interior

p.256 リビングには大きな薪ストーブがある。黒皮鉄でシャープな形にデザインし、味わいのある空間にモダンさをプラスしている。

p.257 クラウディア邸のキッチンコンパクトな設計。シルバーでもマットな質感に仕上げることで主張しすぎず、建物と違和感なく調和する。





1 女性らしさを醸し出すベッドヘッドと脚部のフレームは国内から探し出した70年代イタリア製のもの。強度を保つようリメイクした。
2 ファッションの仕事をするクラウディアさん。ゲストを迎える玄関は、センスや自分自身をプレゼンテーションする場所。
造り付けの黒皮鉄製のオープンシェルフに、お気に入りのアイテムを飾っている。
3 広々としたリビングダイニングの全景。天井の高さは最高で約4.5mもある。
窓の外の網目状になった壁は、風通しをよくした納屋の名残でオリジナル。

Vintage x Modern
Mix Interior



Vintage x Modern

Mix Interior



4 中央の板張りの箱は増築部分で、クラウディア邸のキッチンになっている。もともと分棟型だった建物のブリッジの役割も果たす。
5 妹・エリーザ邸のリビング横にあるパーゴラ付きのテラス。ソファはパオラ レンティ。
6 玄関は世帯別に分かれており、写真はエリーザ邸のエントランスポーチ。ソファやチェアが置かれ、過ぐす場所に設えられている。一段手前の石敷きは、電気・水道の地下設備のためにいったん剥がして工事後に元の配列どおりに戻したのだそう。徹底してオリジナルの記憶を残している。
p.261 敷地は約8700㎡と広大。プロパティの大部分が庭で、6×16mの温水プールも完備。プールの左手にはアウトサイドダイニングもある。キッチンを併設しており、週末にはここで2家族揃ってランチを楽しんでいる。



住み手と土地の“ルーツ”を 空間デザインで表現する

石積みの高い壁、大きな古木の梁、アーチ型の窓。プリミティブで力強い建築に、モダンなヴィンテージ家具や端正なディテールが響き合う——。新旧のエッセンスが見事に融合した空間は、1700年代に建てられた農家をトスカーナ出身の姉妹のためにリノベーションした二世帯住宅である。

設計を手がけたのは建築家デュオb-arch。建物の原型を極力残すことを前提に、住み手のキャラクターを色濃く反映させることを目指したという。姉のクラウドディアさんはファッションブランドを経営しており、日々多忙で来客も多い。キッチンや個室はコンパクトに、応接の場となるリビングを広々と確保した。一方、妹のエリーザさんは食を大切にしたいスローライフを好む。全長3.6mの巨大なアイランドキッチンのある空間をプランの中心に据えた。

2つの住居は間取り上では完全に仕切られているが、クラウドディア邸の暖炉やエリーザ邸のリビングの収納など、随所で素材に同じ黒皮鉄を用いることで、二世帯が一体であることを表現。また、家具や小物は真鍮、レザー、古材といった経年変化の美しいものを厳選した。そのひとつひとつは、トスカーナでつくられたヴィンテージであったり、現地の職人技を生かしたカスタムメイドであったり、この場所에서만実現しないユニークな一点ものであふれている。「時間もかかったけれど、手をかけたオリジナルなインテリアは建物とのハーモニーが素晴らしい。空間の魅力が何倍も増してとても満足しています。そして何よりも、自分たちの“ルーツ”を感じながら暮らせることがうれしいんです」と姉妹は語る。

古いものを生かしたミックスインテリアは、単なるコーディネイトのスタイルやトレンドではない。住み手にとってタイムレスな価値を生むためのものであることを、この邸宅が教えてくれる。

エリーザ邸のリビングダイニング。以前はワインの収蔵庫で真っ暗だった部屋に、大きな開口部を設けて採光を確保。右手にあるゴールドの回転式シェルフは、空間に合わせてデザインし、製作をトスカーナの職人にオーダー。アンティークのダイニングテーブルも、このエリアの典型的な作業台を職人にメンテナンスしてもらったもの。最奥に見える壁沿いのキャビネットが、クラウドディア邸との共通の要素である黒皮鉄でできている。

Vintage x Modern

Mix Interior



Vintage x Modern

Mix Interior



7



Profile
Alessandro Capellaro / Sabrina Bignami
 アレッサンドロ・カペラルロ(左) / サブリナ・ビニャーミ(右)。
 イタリア・プラトを拠点とするインテリアデザイン
 建築設計事務所共同主宰。伝統とモダンの上質な
 ミックススタイルに定評がある。(http://www.b-arch.it)



11

7 ペンダントランプはRoll & Hillというブランドのもの。
 スモーキーなガラスや黒いアイアンが、
 テクスチャーのある左官仕上げの壁面と調和している。
 8 クラウディアさんのバスルーム。セラミックのオブジェが壁面を彩る。
 9 キッチンにあるラスティックなアンティーク扉のキャビネット。
 内部には冷蔵庫が隠されている。この風合い豊かな材に合わせて
 左右の食器棚もオーダーメイドした。
 10 エリーザ邸のリビング。革や真鍮、木、ファブリック…
 質感のある多彩な素材のコンビネーションが美しい。
 ソファはレマ。ラグはモロッコの民族のハンドメイド。
 壁面のモダンなシェルフに、ここでも黒皮鉄を使用した。
 11 エリーザ邸の中心であるキッチンスペース。
 人が集まって調理できるよう、中央に巨大なアイランドを設置。
 また、この空間は玄関から入ってすぐの場所にある。
 食を大事にするライフスタイルやウェルカムな雰囲気
 を表現するためのプランになっている。
 アイランドはトスカナのカララ産の大理石を用いて造作した。



9



8